

第1回杉並和泉学園の新たな通学区域の指定に関する懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第1回杉並和泉学園の新たな通学区域の指定に関する懇談会
日 時	令和元年7月30日（火） 午後3時～
場 所	和泉学園 校長室
出 席 者	懇談会委員19名（欠席1名）
傍 聴 者	1名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会の挨拶 2 懇談会委員自己紹介 3 今後のスケジュール 4 教育委員会の検討素案 5 質疑応答 6 閉会
資 料	<p>資料1 杉並和泉学園の新たな通学区域の指定に関する懇談会設置要綱</p> <p>資料2 杉並和泉学園の新たな通学区域の指定に関する懇談会委員名簿</p> <p>資料3 今後のスケジュール</p> <p>資料4 杉並和泉学園の新たな通学区域の指定について（検討素案）</p>

次長	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 次長挨拶 3 和泉学園開校の経緯と当懇談会設置趣旨の説明 <p>杉並和泉学園は、「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画」に基づいて平成22年7月に「杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会」を設置し、4年6か月の歳月と28回に及ぶ懇談会を重ねて開校しました。その際、当面は小中一貫校ではありますが、小学校と中学校の通学区域に差異がある地域を「調整区域」と定め、柔軟に就学先を選択できることとしておりました。</p> <p>ただ、この経過措置は平成33年を目途に、小学校と中学校の通学区域を一致させることとしていました。この会は、経過措置の期間も終わろうとしている今、新たな通学区域を考えていこう、という懇談会です。</p> <p>いろいろな役職の方に集まっていた会ですから、それぞれのお立場から、忌憚のないご意見を聞かせていただきたいと思っております。</p>
学務課長	<ol style="list-style-type: none"> 4 学務課長挨拶 5 会議の公開について <p>基本的に、この懇談会及び会議録は、原則公開となります。なお、会議録については、発言者の名前は伏せた形での記録でもよろしいでしょうか。（全員了承）</p>

	<p>また、懇談会を傍聴したいとご希望される方がいらっしゃる場合は、基本的に認めることとなっておりますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>6 委員自己紹介 7 事務局自己紹介 8 当会議の進行の選出：和泉学園学園長が選出される</p>
学園長	<p>9 学園長挨拶</p> <p>この会は、結論を出す会ではないので、ご自身が感じている心配事や、改善したほうがいい点について遠慮なく話してください。</p>
学務課長	<p>10 要綱の説明 11 今後のスケジュールについて 資料3の説明</p>
委員	<p>11月の保護者説明会の保護者というのは、どこが対象ですか。</p>
学務課長	<p>新旧の学区の学校の保護者を対象に行う予定です。必要があれば他の学校でも行いたいと考えています。</p>
委員	<p>来年の9月上旬で初めて新入生の保護者が知ると、入学する半年前で初めて、自分は和泉学園に行けないと知ることになってしまう。11月の保護者説明会で、新入学の保護者も対象にして説明しておかないと、あまりにも唐突すぎませんか。</p>
学務課長	<p>スケジュールとしては、なるべくいろいろなところで説明させていただこうと思っています。今年度に決めて来年度に周知をして、再来年に施行となっているので、なるべく広く周知したいと思っています。</p>
学園長	<p>保護者説明会のスケジュールについては、次回までにもう少し具体的に整理していただきたい。意見を聴取することと、決定事項としてアナウンスすることは意味合いが違いますよね。11月の保護者会で、学区の変更があるかもしれないということは認識できても、当事者意識の芽生えたころには決定事項になっているという状況は、保護者の方にとっては不安かもしれません。</p>
学務課長	<p>日程については、前倒しにするなど柔軟に考えたいので、皆さんにご意見をいただきたいと思います。</p>
次長	<p>補足させていただくと、11月の保護者会の時点では、新しい学区について素案という形で説明はしますが、それに対しての意見を聞かせていただく場でもあります。ただ、学園長のおっしゃった、開催の目的や対象を整理して具体的な案を示せるようにしたいと思います。</p>
委員	<p>素案の地図を、町会のHPに載せてよろしいですか。</p>
学務課長	<p>懇談会の中で承認されれば、よろしいと思います。</p> <p>例年新入学の方にお配りしている「児童・生徒の保護者の方へ」という資料には、今後学区の見直しがある旨が書かれています。見直しの詳しい内容については今後説明させていただくような形になっています。ご意見いただいたように、結果をご案内する前に、皆様から広く意見をいただきたいと思っています。</p>

	12 検討素案の説明 学務課長：資料4の説明
委員	13 質疑応答 小学校と中学校の学区域の整合性を取る、という基本的な考え方には賛成です。ただ、具体的な推計の数字を見て、こんなに増えるの？というのが正直なところですよ。特に令和5年度には、150人くらい増えて、学級数が22学級になっています。方南小学校には、普通教室が18学級しかないのです、推計通りであれば、5教室足りなくなります。どのようにお考えですか。
学務課長	表の見方ですが、令和5年度の1年間で151人増えるわけではなく、2年から5年の間にD地域から累計151人通っているだろう、ということです。ご指摘いただいたように、方南小学校がどのように学級増に対応するかということは、学校整備課に相談しております。
委員	学級増ですが、推計を見る限りこれほど大幅に増えるのは方南小学校だけです。子どもの数が増えることは、良いことですが、それによって学習環境が苦しくなってしまうというのはかわいそうかな、と思います。それについて次回までに、具体的な解決方法を教えていただきたいと思っています。
学園長	もし学区域が変わらなければ、151人が和泉学園に来ることなので、うちも厳しい。個々に事情はありますが、そこは教育委員会が間に立って考えてほしいです。
学務課長	現在、特例措置という形で指定校変更を柔軟に認めています、学区が変わってからも内容を見直して、特例措置を設ける可能性があります。ですので、推計につきましては必ずしもこのようになるわけではありません。
学園長	地域的に、D地域というのは、真剣に考えなくてはいけないと思います。ここは、新泉小学校の学区だったので、学校としては新泉和泉小学校という思いがあるでしょうが、町会は2つに分かれていて、どちらかと言うと方南が母体にあります。人数だけではなく、ソフト面でも気を使うべき繊細な部分があるように思います。
委員	目が悪くてよく分からないのですが、地図のブルーのA地域とC地域の分かれるところは井の頭通りですか？
学務課長	井の頭線の線路です。
委員	通学区域に関する規則というのは、ないのですか？
学務課長	あります。
委員	であれば、それをまず知りたいですよ。まず、現状を書いていただいて、次に問題点はこうですと。
学務課長	通学区域は、○丁目○番～○番は○○小学校というように住所で定められています。住所でお示しするよりも、地図のほうが分かりやすいと思ってこのような資料にしましたが、今回は規則をお持ちいたします。
委員	地図だけ見ると、単純に赤と青を一緒にしちゃえばいいじゃないと。

学務課長	一緒にしてしまうと、和泉学園の学区がさらに広がってしまうんですね。そして、他の小学校や中学校の通学区域が狭くなってしまいます。そこのバランスを考えて素案を出しております。
委員	町会としては、住所が出ていると分かりやすいです。
学務課長	わかりました。
委員	何が問題点なのか、箇条書きで書いてください。
学務課長	一番大きな問題点を申し上げますと、和泉学園は小中一貫校として小学校中学校併せて9年間を通して教育するわけです。ただ、現在は小学校と中学校で通学区域が違うので、出入りがあります。その部分を検討するというのが、議論の前提です。
委員	小中一貫というのは、23区で杉並が初めてですか？
学務課長	他区にもあると思います。
委員	他区の事例なんかも、参考になるんじゃないですか。
学務課長	区内でも、通学区域については高円寺学園のほうが、議論が先行しています。和泉学園は、区内で初めての小中一貫校でしたので、5年間状況を見て改めて決めるという形をとっていました。
委員	先の人がおっしゃったかったのは、他の区の事例はないんですか？ということ。資料はありますか？
学務課長	次回ご用意します。
学園長	高円寺学園は、通学区域が比較的整理をされており、ほとんどずれがなかったという状況があります。和泉学園はぴったりではなかったもので、様子を見ようとなったわけです。なぜなら、急に通学区域を変えると、ハレーションが大きいからです。学校が分かれる、というのは辛いですよ。辛さを伴う部分は先送りにして、実際に子どもたちがどういう行き来をするかを見てから考えよう、ということになったのだと思います。一番分かりやすいのが、C地域のところです。小学校は永福小学校で中学校は和泉中学校ですが、実際のところ和泉中学校には、ほとんど来ません。みんな向陽中学校に行きます。和泉学園は小中一貫なので、その中に中学校から入るというのはあまりないです。
委員	兄弟関係も向陽中学校に行っている子が多いので、引き続き向陽中学校が多いですね。もう一つは、井の頭線を越えていくことに危険を感じている保護者が多い、というのもあると思います。
学園長	このように、5年経つと定着して見えてくるものがあります。そのあたりの説明が、足らなかったかもしれませんね。たとえば、D地域は、小学校は新泉和泉小で中学校は泉南中なので、中学も和泉中に行きたいという人が多いかもしれませんね。ただ、表を見ると、実際には、泉南中学校に行っている人が多いですね。
委員	そのあたり、D地域の町会長どうですか。
委員	どのくらいの人がどこに行っているか、分かりませんが、とにかく遠いとい

	うのは聞きます。環七のすぐそばからだ、和泉学園に親が送り迎えをするにも遠い、ということです。方南小学校ですと、環七を渡らなくてははいけませんが、渡った目の前にありますので。今年は、方南小学校に結構入学されましたよね。
委員	D地域の1年生11人のうち、6人が方南小学校です。
委員	遠いということで、親御さんが悲鳴を上げたみたいです。
委員	今回の通学区域の変更について、小中一貫校を進めるという定義がはっきりしていて、区切りも元々あるところ変更なので、通ると思います。今後、どちらに行くかがグレーな人について、どこで線引きをするか、ということが保護者の心配事になっていくのではないかと思います。その辺が、はっきりとわかるような資料も準備したほうが良いと思います。
学務課長	素案が決まった後は、特例措置をどうするかということと、何年間やるかということを決めたいと思っています。その際、また皆様にご意見を伺うかと思っています。先ほど校長先生がおっしゃった、兄弟関係での指定校変更については、特例ではなく、また別に事由としてありますので、何年か後にはなくなる、ということはないです。
学園長	P T Aの方々どうですか。
委員	私は杉並に、子どもが小学校に上がるタイミングで引っ越してきたのですが、正直、和泉学園が小中一貫校なることも知らなかったです。新泉小学校で近いと思っていたら、すごく遠くてショックでした。自分も地理が分からない中で、子どもにどうやって道を覚えさせようか、と5年前に思いました。なので、これから杉並に引っ越してきたり、入学に合わせて家を買われる方もいると思うので、こういう話は早く親御さんたちに周知をしてあげたほうが、不安もなくなると思います。できるだけわかりやすい資料で、早くに周知するというのを、心がけて動いてほしいです。 話は戻りますが、未就学児の方への説明会はいつどのようにするのかを知りたいです。幼稚園や保育園での周知を考えていますか。
学事係長	高円寺学園の場合は、周辺の幼稚園や保育園に案内を配って周知をしたのですが、高円寺学区に住んでいるけれども、別の地域の保育園に通っている方への周知ができず、お叱りがありました。なので、やり方については考えていきたいと思っています。
委員	実は、下の子が令和3年に入学なのですが、私のように上の子がいて学校で話を聞ける方ばかりではないですし、保育園ですと、保護者同士で話す機会もなかなかないので、もれなく周知してほしいです。
委員	名簿などを作っている、D地域は割とボリュームゾーンだと感じています。今、和泉学園の1年生は35人で4学級とパンパンなので、和泉学園のことを考えると、少しでも遠い子は、と思います。けれど、それぞれの学校に事情があると思うので、なかなか難しいところですね。
委員	お話を聞いていて、未就学児の方への周知というのは大事だと思います。小

	<p>学校がある通学区域の中学校へ上がる方がほとんどですので。そういった意味では、幼稚園だけでなく、地域に住まれている家庭全員に通知ができるような措置をとっていただいたほうが、あの小学校へ行ったら中学校はあそこだ、という心構えができると思います。</p>
委員	<p>説明会と言っても、保護者の方は働いている方が多いので、どこかへ出向くというのがなかなかできない方がすごく多いです。なので、できれば一軒一軒データを送ってくださったほうが、目に付きやすいんじゃないかと思います。遅くに帰っても、重要書類と書いてあれば、目を通すので。今の環境にあった対応をしていただけると、ありがたいと思います。</p>
委員	<p>D地域に住んでいます。自分の息子のころも、同じ小学校に通っていても、中学校は分かれていたので、変わっていないんだと思いました。聞いていて、地域の子が同じところに行くという、子どもの流れというのは大事だと思いました。</p>
委員	<p>私もD地域に住んでいます。子どもは新泉小に通っていて今は新泉和泉小学校なので、これからも方南西町会と関わっていけたら、と思っています。ただ、やはり子どもたちの状況や環境を見ると、開校してから5年で様子を見るということで始まっていることですし、それに合わせた形で進んでいけたらいいと思います。</p>
委員	<p>C地域とA地域の境目は、井の頭線でとても分かりやすいのですが、B地域やD地域の親御さんの立場からすれば、なぜここで切れているのかがそもそも疑問だと思います。それぞれの地域の人が、どこで切れているかが分かりやすいように、地図の拡大をしてほしいです。</p>
委員	<p>決められたところに行くかどうかというのは、最終的には、個々の家庭の問題だと思うのですが、杉並区は全体的に、通学区域が小学校と中学校でバラバラですね。永福南小学校があるところまでが、和泉中学校の学区であったりして。先々のことを考えると、決めてしまえば、それはそれでそこに人が流れていく気がします。話を聞いていると、物事を大変なことのようにとらえすぎているかもしれません。</p>
委員	<p>和泉学園と、新泉和泉小というのがありますが、どういうことですか。</p>
学園長	<p>杉並和泉学園というのは呼称で、中学校の部分は和泉中学校、小学校の部分は新泉和泉小学校というのが、正式名称です。事務局としては、和泉学園小学部と中学部で資料を統一していただく必要があるかと思っています。</p>
委員	<p>次回は、地図が明確に分かるものをお願いします。</p>
学務課長	<p>わかりました。次回にはご用意してお配りしたいと思います。 本日はありがとうございました。</p>
	<p>12 事務連絡 13 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

